

令和4年度下水道事業会計予算の概要

(単位：千円)

下水道事業会計		令和4年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額 a-b
収益的収支	収益的収入	4,428,708	4,476,636	▲ 47,928
	収益的支出	4,353,950	4,387,680	▲ 33,730
資本的収支	資本的収入	1,582,716	1,494,850	87,866
	資本的支出	1,968,606	2,084,521	▲ 115,915

※収益的収入・収益的支出の金額は、予算科目のうち「款：下水道事業収益」及び「款：下水道事業費用」と同額

(単位：千円)

予算規模	令和4年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額 a-b
	6,322,556	6,472,201	▲ 149,645

※予算規模は、収益的支出と資本的支出の合計額

業務の予定量

事項	令和4年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額 a-b
処理区域内人口 (単位：人)	238,311	237,815	496
年間総処理水量 (単位：m ³)	37,857,371	36,368,000	1,489,371
一日平均処理水量 (単位：m ³)	103,719	99,638	4,081
主要な建設改良事業 (単位：千円)	1,440,436	1,421,488	18,948

1. 関連する施策等の振り返り

施策名(基本計画)等	振り返り(施策評価等から)	取組の方向性(施策評価等から)
<p>施策01 災害に強いまちづくり</p>	<p>◆災害に強い都市基盤の整備</p> <p>○管径800mm未満の小口径管路の耐震診断を実施した結果、対象管路が耐震性能を有することを確認</p> <p>○令和元年台風第19号を踏まえた多摩川流域の浸水被害軽減のため、狛江市と連携し、中長期的な対策の具体化に向けた検討を進め、浸水被害軽減総合計画を策定予定。調布排水樋管の遠隔操作化工事へ着手するとともに、市内全域の内水浸水想定区域図を作成予定。下水道BCPを改定し、水害対応に関する内容を追加</p>	<p>○小口径管路の耐震診断を継続</p> <p>○洪水ハザードマップに内水浸水想定区域図を加え、市民への周知を図るほか、狛江市と連携し、浸水被害軽減総合計画に基づく対策を推進</p>
<p>施策29 快適な生活環境づくり</p>	<p>◆持続的な下水道事業の推進</p> <p>○下水道施設の機能を維持し将来にわたり安定した経営基盤の強化を図るため、調布市下水道ビジョン(計画期間:令和3年度~令和12年度)に基づき事業を推進</p> <p>○計画的・効率的に施設の維持管理を進めるため、老朽化・劣化対策として、下水道ストックマネジメント計画に基づく管路の点検、対策工事の設計を実施</p> <p>○老朽化が進行している仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化事業について、工事に着手</p> <p>○雨水浸透施設の設置促進や雨天時の水質調査による水質管理を実施</p>	<p>○調布市下水道ビジョンに基づき、進捗管理を行いながら、総合的かつ計画的に下水道事業を推進</p> <p>○小口径管路を対象に、点検結果の評価・分析等に基づいた下水道ストックマネジメント計画を改定。中大口径管を対象に、設計及び対策工事を実施</p> <p>○将来に渡り下水道管路施設の適切な維持管理を継続するため、官民連携による包括的民間委託の導入に向けての調査・検討を実施</p> <p>○令和6年度の完成に向け、仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化工事を推進</p> <p>○雨水浸透施設の設置促進や雨天時の水質調査による水質管理を継続</p>

2. 令和4年度の取組方針及び検討課題

- (1) 令和元年台風第19号を受けた多摩川流域の浸水被害軽減に向けた中長期的対策への着手
- (2) 仙川汚水中継ポンプ場のポンプによる圧送方式から自然流下方式への切替に向けた管路新設工事(自然流下化工事)の実施
- (3) 下水道ストックマネジメント計画に基づく管路の老朽化・劣化対策工事への着手
- (4) 管路の維持管理への包括的民間委託導入に向けた調査・検討の開始
- (5) 小口径管路の耐震診断の継続

3. 財源確保・事業費見直しの取組

なし

4. 令和4年度新規・拡充

- (1) 下水道ストックマネジメント計画に基づく管路の老朽化・劣化対策工事への着手
- (2) 管路の維持管理への包括的民間委託導入に向けた調査・検討の開始

5. 主要事務事業の概要

(単位：千円)

No. 1 施策29快適な生活環境づくり No.94下水道施設の機能維持 <<重点1>>		下水道課	
下水道施設の機能維持		4年度	419,910
下水道分野のマスタープランである調布市下水道ビジョンに基づき、持続的な下水道事業を推進します。計画的・効率的に施設の維持管理を進めるため、下水道ストックマネジメント計画に基づき、管路の劣化状況の点検を継続するとともに、点検結果に基づく老朽化・劣化対策工事に着手します。また、下水道地震対策に関する基本方針に基づき、管路の耐震診断を行います。		3年度	101,479
		増減	318,431
		財源内訳	国・都市債 253,600 その他 94,248 一般財源 19,562
○ストックマネジメント調査等委託料	23,056		
○ストックマネジメント補修工事設計等委託料	4,092		
○ストックマネジメント工事設計等委託料	15,906		
○ストックマネジメント工事費	290,400		
○仙川汚水中継ポンプ場費 (管理・点検等委託料その他維持管理費)	57,390		
○地震対策委託料	29,066		
参考 市民1人当たり市税等負担額(円)			82

No. 2		下水道課	
令和元年台風第19号対応を踏まえた浸水対策事業		4年度	60,766
令和元年台風第19号による浸水被害を受けて、狛江市と連携し、中長期的対策に具体的に着手します。その一部となる根川市域内の根川雨水幹線流域での対策の基本設計等に対して、負担金を負担します。		3年度	148,744
		増減	▲ 87,978
		財源内訳	国・都市債 11,000 その他 2,114 一般財源 47,652
○可搬式排水ポンプ保守点検委託料	3,794		
○公共下水道事業計画変更認可申請書等作成委託料	1,848		
○浸水対策建設改良事業委託料(逆流防止ゲート改修実施設計)	11,000		
○根川雨水幹線維持管理負担金 (狛江市域での中長期的対策基本設計等)	35,411		
○根川雨水幹線建設改良負担金(六郷排水樋管カメラ増設)	2,114		
○水位計・カメラ等システム・インターネット利用料	5,872		
○その他諸経費	727		
参考 市民1人当たり市税等負担額(円)			200

No. 3		下水道課	
仙川汚水中継ポンプ場の自然流下化に向けた取組		4年度	560,688
緑ヶ丘地区の汚水を365日24時間下水道幹線へ圧送する施設である仙川汚水中継ポンプ場の長期的な事業費の縮減や老朽化・災害による機能不全リスクの解消に向けた自然流下化事業(ポンプによる圧送から管路新設による自然流下方式への切替)として、令和6年度の完成に向け、管路新設工事等を実施します。		3年度	805,852
		増減	▲ 245,164
		財源内訳	国・都市債 510,900 その他 49,788 一般財源
○自然流下化に伴う土地賃借料	3,888		
○自然流下化工事費	500,000		
○自然流下化に伴う補償費(他企業支障物移設等)	56,800		
参考 市民1人当たり市税等負担額(円)			0

6. 税込み1億5,000万円以上の工事請負に係る事業予定

事業名称	工事期間	予定事業費
ストックマネジメント工事費	令和4年度	290,400
3・4・28号線管渠等建設改良工事費	令和4～5年度	213,180

7. 事業別予算化状況（前年度比較）

収益的収入

款 1 下水道事業収益		(単位：千円)		
項 及び 目	令和4年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額 a-b	主な増減要因
1 営業収益	3,061,670	3,148,158	▲ 86,488	
1 下水道使用料	2,022,110	2,064,401	▲ 42,291	実績勘案
2 雨水処理負担金	1,033,211	1,041,177	▲ 7,966	
90 その他営業収益	6,349	42,580	▲ 36,231	下水道使用料徴収委託前年度精算金の減等
2 営業外収益	1,367,037	1,328,477	38,560	
1 受取利息及び配当金	7	7	0	
2 他会計負担金	31,156	33,873	▲ 2,717	
5 長期前受金戻入	1,275,821	1,250,595	25,226	資産減耗費と連動した増等
7 消費税及び地方消費税還付金	56,796	40,778	16,018	令和4年度収支に応じた増
8 雑収益	3,257	3,224	33	
3 特別利益	1	1	0	
3 過年度損益修正益	1	1	0	
計	4,428,708	4,476,636	▲ 47,928	

収益的支出

款 1 下水道事業費用		(単位：千円)		
項 及び 目	令和4年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額 a-b	主な増減要因
1 営業費用	4,246,703	4,257,666	▲ 10,963	
1 管渠費	399,098	414,246	▲ 15,148	浸水対策事業委託料の減等
2 ポンプ場費	57,390	58,399	▲ 1,009	
3 流域下水道管理運営費	1,465,006	1,407,387	57,619	実績勘案
4 総係費	444,459	466,024	▲ 21,565	下水道使用料徴収委託料の減等
5 減価償却費	1,854,364	1,908,297	▲ 53,933	標準耐用年数を迎え償却期間が終了した固定資産の増加に伴う減
6 資産減耗費	26,386	3,313	23,073	除却対象資産と連動した固定資産除却費の増
2 営業外費用	102,246	125,013	▲ 22,767	
1 支払利息及び企業債取扱諸費	102,144	124,966	▲ 22,822	仙川汚水中継ポンプ場の企業債未償還残高の繰上償還に伴う減等
4 雑支出	102	47	55	
3 特別損失	1	1	0	
4 過年度損益修正損	1	1	0	
4 予備費	5,000	5,000	0	
1 予備費	5,000	5,000	0	
計	4,353,950	4,387,680	▲ 33,730	

資本的収入

款 1 資本的収入		(単位：千円)			
項 及び 目	令和4年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額 a-b	主な増減要因	
1 企業債	1,460,100	1,431,900	28,200		
1 企業債	1,460,100	1,431,900	28,200	建設改良費と運動	
2 国庫補助金	50,000	0	皆増		
1 国庫補助金	50,000	0	皆増	ストックマネジメント工事実施に伴う新規計上	
3 都補助金	2,500	0	皆増		
1 都補助金	2,500	0	皆増	ストックマネジメント工事実施に伴う新規計上	
6 他会計負担金	70,116	54,684	15,432		
1 他会計負担金	70,116	54,684	15,432	調布駅前広場管渠新設撤去工事実施に伴う増等	
8 分担金及び負担金	0	8,266	皆減		
1 分担金及び負担金	0	8,266	皆減	府中市建設改良負担金の減	
計	1,582,716	1,494,850	87,866		

資本的支出

款 1 資本的支出		(単位：千円)			
項 及び 目	令和4年度予定額a	前年度予定額b	差引増減額 a-b	主な増減要因	
1 建設改良費	1,639,027	1,600,202	38,825		
1 管渠建設改良費	1,440,436	1,421,488	18,948	・自然流下化工事費、ストックマネジメント工事費の増等 ・自然流下化設計等委託料の減等	
3 建設改良事務費	38,131	35,551	2,580	職員配置と運動した一般職職員給の増等	
4 流域下水道費	160,460	143,163	17,297	流域下水道建設改良負担金の増	
2 固定資産購入費	142	142	0		
1 固定資産購入費	142	142	0		
3 企業債償還金	324,437	479,177	▲ 154,740		
1 企業債償還金	324,437	479,177	▲ 154,740	仙川汚水継ポンプ場の企業債未償還残高の繰上償還に伴う減	
6 予備費	5,000	5,000	0		
1 予備費	5,000	5,000	0		
計	1,968,606	2,084,521	▲ 115,915		

補てん財源

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額3億8,589万円を、以下の補てん財源で補てん

補てん財源種別		(単位：千円)			
留保見込額 (使用可能額)	補てん額 (使用額)	差引残高見込	補足説明		
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	131,780	131,780	0	資本的支出の消費税及び地方消費税（以下「消費税」と言う）から、資本的収入の消費税及び控除対象外の消費税を差し引いて算出した、消費税関係で下水道事業会計に蓄えられる（＝留保される）資金	
過年度分損益勘定留保資金	374,946	254,110	120,836	過年度の収益的収支予算において、減価償却費、資産減耗費等の現金支出を伴わない費用の計上により、その財源として下水道事業会計に留保される資金	
当年度分損益勘定留保資金	548,009	0	548,009	当年度の収益的収支予算において、減価償却費、資産減耗費等の現金支出を伴わない費用の計上により、その財源として下水道事業会計に留保される資金	
計	1,054,735	385,890	668,845		

債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額
3・4・28号線管渠等建設改良工事費	自 令和4年度 至 令和5年度	127,908
野川吐口改良工事費	自 令和4年度 至 令和5年度	39,600

企業債

(単位：千円)

起債の目的	限度額
公共下水道事業	1,307,700
流域下水道事業	152,400
計	1,460,100

※起債限度額は、資本的収入の企業債の額と同額

8. 収益的支出・資本的支出の財源内訳

収益的支出

款 1 下水道事業費用		(単位：千円)							
項 及び 目	令和4年度 予定額	(営業収益) 雨水処理負担金	(営業外収益) 他会計負担金	(営業外収益) 国・都補助金	(営業外収益) 長期前受金戻入	その他	汚水処理費 (下水道使用料で 賄うべき費用)	備考	
1 営業費用	4,246,703	995,928	13,926	0	1,275,821	9,605	1,951,423		
1 管渠費	399,098	196,487	2,631	0	0	5,764	194,216		
2 ポンプ場費	57,390	0	0	0	0	0	57,390		
3 流域下水道管理運営費	1,465,006	506,274	10,295	0	0	0	948,437		
4 総係費	444,459	41,008	198	0	0	3,841	399,412		
5 減価償却費	1,854,364	246,653	802	0	1,262,481	0	344,428		
6 資産減耗費	26,386	5,506	0	0	13,340	0	7,540		
2 営業外費用	102,246	35,543	17,230	0	0	0	49,473		
1 支払利息及び企業債取扱諸費	102,144	35,543	17,230	0	0	0	49,371		
4 雑支出	102	0	0	0	0	0	102		
3 特別損失	1	0	0	0	0	0	1		
4 過年度損益修正損	1	0	0	0	0	0	1		
4 予備費	5,000	1,740	0	0	0	0	3,260		
1 予備費	5,000	1,740	0	0	0	0	3,260		
計	4,353,950	1,033,211	31,156	0	1,275,821	9,605	2,004,157		

※その他は、営業収益の「目：その他営業収益」及び営業外収益の「目：雑収益」（過料を除く）の合計

資本的支出

款 1 資本的支出		(単位：千円)					
項 及び 目	令和4年度 予定額	(資本的収入) 企業債	(資本的収入) 国・都補助金	(資本的収入) 他会計負担金	(資本的収入) その他	資本的収支 不足額	備考
1 建設改良費	1,639,027	1,460,100	52,500	19,410	0	107,017	
1 管渠建設改良費	1,440,436	1,307,700	52,500	10,890	0	69,346	
3 建設改良事務費	38,131	0	0	8,520	0	29,611	
4 流域下水道費	160,460	152,400	0	0	0	8,060	
2 固定資産購入費	142	0	0	0	0	142	
1 固定資産購入	142	0	0	0	0	142	
3 企業債償還金	324,437	0	0	50,706	0	273,731	
1 企業債償還金	324,437	0	0	50,706	0	273,731	
6 予備費	5,000	0	0	0	0	5,000	
1 予備費	5,000	0	0	0	0	5,000	
計	1,968,606	1,460,100	52,500	70,116	0	385,890	

9. 企業債残高の状況

(単位：千円)

起債の目的	令和3年度末 企業債残高見込	(資本的収入) 企業債	(資本的支出) 企業債償還金	令和4年度末 企業債残高見込
公共下水道事業	4,847,370	1,404,000	190,246	6,061,124
流域下水道事業	2,393,600	152,400	134,191	2,411,809
合計	7,240,970	1,556,400	324,437	8,472,933

※公共下水道事業の企業債には、当初予算に加え、前年度からの繰越事業に充当予定の額（9,630万円）を含む

10. 財務諸表の概要

(各項目で表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と合わない場合あり)

令和3年度予定貸借対照表
(令和4年3月31日)

固定資産 293.8億円	固定負債 69.3億円
	流動負債 9.1億円
	繰延収益 194.3億円
流動資産 9.8億円	資本金 32.5億円
	剰余金 ▲1.6億円

※流動資産のうち
現金預金は7.9億円

負債の部 合計
272.6億円

資本の部 合計
30.9億円

資産の部 合計
303.5億円

負債・資本の部 合計
303.5億円

令和4年度予定貸借対照表
(令和5年3月31日)

固定資産 292.0億円 (▲1.8億円)	固定負債 81.3億円 (+12.0億円)
	流動負債 15.6億円 (+6.5億円)
	繰延収益 183.8億円 (▲10.5億円)
流動資産 19.1億円 (+9.3億円)	資本金 32.5億円 (増減なし)
	剰余金 ▲2.2億円 (▲0.6億円)

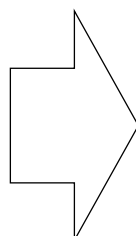
※流動資産のうち
現金預金は16.1億円

負債の部 合計
280.7億円
(+8.1億円)

資本の部 合計
30.4億円
(▲0.5億円)

資産の部 合計
311.0億円
(+7.5億円)

負債・資本の部 合計
311.0億円
(+7.5億円)



主に
令和4年度の
資本的収入・
支出等を加減
(消費税及び
地方消費税の
金額を除く)

令和4年度予定キャッシュ・フロー計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

資金(現金預金)期首残高	7.9億円
--------------	-------

業務活動による資金の増減	4.4億円
投資活動による資金の増減	▲8.6億円
財務活動による資金の増減	12.3億円

資金(現金預金)期末残高	16.1億円
資金増加(減少)額	8.2億円

令和3年度予定損益計算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

営業収益	30.3億円
営業費用	42.3億円
営業利益(損失)	▲12.0億円
営業外収益	12.9億円
営業外費用	2.1億円
予備費	0.05億円
経常利益(損失)	▲1.3億円
特別利益	1千円
特別損失	1千円
当年度純利益(損失)	▲1.3億円
当年度未処分利益剰余金 (当年度未処理欠損金)	▲1.6億円